

※開催概要について

この資料は、勉強会の議論の状況を迅速に伝えるために、ファシリテーターがグループ討議の概要を発表した内容等をファシリテーター及び事務局がまとめて整理したものです。個別の意見を示したものではありませんことをご了承ください。

沼津高架 PI プロジェクト

勉強会<合同>第3回 開催概要

7月13日(土)、勉強会<合同>第3回が開催され、沼津駅周辺地区及び原地区から36名のメンバー(うち、代理人4名)が参加しました。前回以降、勉強会メンバーの各団体を対象に車座談議が開催され、これまでの検討資料の理解促進と情報交換が図られたことが報告されました。その中で話題となった「代替素案」「代替案」という用語について事務局から説明があり、「代替案」とは、PIにおいて予断ない検討を行うための「現計画も含めた複数の選択肢」との定義が改めてなされました。

続いて、各地区の地域づくりの戦略案(代替素案)とそれらを組み合わせた代替案について事務局から説明があった後、ファシリテーターの進行のもとグループ検討が行われました。沼津駅周辺地区の戦略案(代替素案)に関しては、車両基地の移転(沼 B-7 案に関連)を他の案に組合せるアイデアが提案された他、現計画(沼 A-1 案)の事業費や事業期間の縮小の可能性について技術的な検討の要望がありました。また、各案の合意形成に要する期間や土地区画整理事業の計画変更に掛かるコスト・リスクに関心が高く、重要な評価の視点として強調されました。

原地区の戦略案(代替素案)については、今回示された3案について確認がなされました。原地区西側ゾーンの活力創出のためには産業を誘致することが重要であり、そのため津波の心配がないという津波被害想定 PR の必要性が指摘されました。「原 A 案 物流機能を活用した全体整備案」については、周辺の住環境への騒音が懸念され、貨物駅規模の縮小の可能性についての検討の要望が改めてありました。また、「原 C 案 小規模整備案」については、代替素案として含める必要はないとする意見や、「原 B 案 種地を活用した先行的機能導入案」と統合する提案がありましたが、既に取得されている土地だけを使うことから実現性が高く、異なる考え方の案との考え方も示されています。評価の視点として、事業費や事業主体、施設等の需要の大きさ等が提案されています。

代替案(パッケージ)については、まず沼津駅周辺地区と原地区の整備のバランスについて議論がされました。原地区だけに投資をすることで他地区からの批判される可能性に懸念があった一方、これまで原地区は迷惑施設を押し付けられてきたが広域アクセスが向上し市西部の玄関口として今こそ投資すべきとの考えが示されました。これについては、沼津駅周辺地区と原地区のどちらに投資するかという議論ではなく、沼津市全体の発展を総合的に考え、全体の整備費と将来的な投資効果の大きさが評価の視点として重要であることが改めて強調されました。また、皆が喜べる案を探すためにかえって意思決定が遅れることは問題との指摘がありました。その他、代替案の数が多いためいくつかは統合して検討を効率化する提案や、中立的な立場からの資料作成について要望がありました。

また、PI の進め方に関して参加者から事務局へ要望が出され、沼津市については鉄道高架に推進の立場から勉強会に参加してほしいとの意見や、勉強会の成果を市議会で検討してほしいとの意見が出されました。

最後に、PI 委員会寺部委員から、どの参加者も積極的に発言できるよう互いに配慮しながら異なる価値観を相互に理解し共通項を探すという難しいパズルにこれからも頑張って取り組んでほしいとのコメントがありました。

次回8月10日(土)は、引き続き合同にて勉強会を開催する他、それに先立ち、原地区では追加の地区別勉強会を7月23日(火)に開催する予定です。